

日本体育大学荏原高等学校

3年選択科目C

# 漫画で学ぶ地歴公民

生徒たちによる  
「大切なことを学んだ漫画」を  
コメント付きで一挙ご紹介！



# はじめに

選択C「漫画で学ぶ地歴公民」は今年で3年目です。

この授業は3年生による選択科目として展開し、多くの生徒たちが受講しています。

ご紹介するレポートは「大切なことを学んだ漫画」を題材とし、生徒たちによるコメントを掲載しています。

このレポートを通じて、漫画はもちろん、少しでも地歴公民の科目に対して興味を持っていただけると嬉しいです。



# 『ONE PIECE』

「サンジが育った店を去るシーン」  
育ての親の元を離れる際に、「風邪引くなよ」と言われるシーンは感動するものだった。  
いろいろ文句など言ってきたが、親からかけられる言葉はどんな言葉よりも深く重みがあると学んだ。（3年男子）

ルフィが戦いを繰り返していく中で、新しい技を習得していき、自分よりも強そうな相手を軽々倒してしまうところが、スポーツや勉強などの、試行錯誤→実践→反復という風に努力は裏切らないということルフィ自身が体現している。（3年男子）

ルフィが小さい頃山賊のヒグマがルフィを攫い、海に投げ飛ばされた。ルフィはゴムゴムの実を食べていて、泳ぐことができない。運が悪く海王類がルフィを襲おうとしたとき、シャンクスが右腕を犠牲にしてルフィを救った。その時シャンクスは「安いもんだ腕の一本くらい無事でよかった。」といった。自分を犠牲にしてまで守れるところに感動しました。このシーンを通じて、自分のことより相手を心配することが大切だとおもいました。（3年男子）



「奇跡は諦めない奴の頭上にしか降りて来ない!!”奇跡”ナメんじゃないよオ!!」

ルフィが敵の毒に侵されてその治療中に仲間のボンクレーがルフィが死んでしまうと絶望してしまっていたときにイワンコフがかけたセリフ  
私はこのセリフから「チャンスは備えあるところに訪れる」

「幸運の女神は準備している者にしか微笑まない」ということを学びました。（3年男子）



「生きていっ!!」 エニエス・ロビー編

ワンピースは仲間の為に行動をする話がとても多く私はその中でもこの話が1番好きです。ロビンが自分達のためCP9に捕まったと聞き、ルフィ達が自ら司法の島に乗り込み全面戦争をするエニエス・ロビー編。私は仲間をなんとしてでも助けようとする姿勢に感動しました。（3年男子）

ルフィが敵を倒す時は何度倒れようと諦めない気持ちが見える。

そのようなシーンから1つのことに対して全力で取り組み諦めない重要さを学んだ。（3年男子）

# 『NARUTO』

「うちはオビトの～確かに忍の世界で、ルールやオキテを破る奴はクズ呼ばわりされる。けどな…仲間を大切にしない奴はそれ以上のクズだ～」

同じ班の仲間であるリン、カカシと共に神無毘橋の戦いに参加していたオビトだがその最中で敵国にリンを拐われてしまう。カカシは過去の経験から任務を優先することをオビトに伝えるが、オビトは仲間を大切にしないやつはクズだとカカシに言い放つシーンを見て、ルールや規則に従うことは大切であるが、それ以上に大切なことを忘れないことが大切だと学んだ。（3年男子）

「マイト・ガイ～自分を信じない奴なんかに努力する価値はない」

ライバルにいくら努力しても勝てず自信を喪失している弟子、ロック・リーに努力の大切さを教えるシーンはとても感動しました。  
このシーンを通じて努力は必ず報われるということを学びました。（3年男子）



## 『スラムダンク』

宮城リョータ 「ドリブルこそチビの生きる道なんだよ!!」

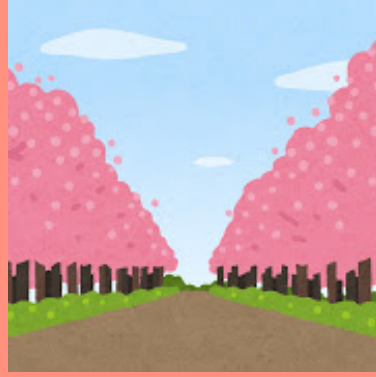
身長が大きい相手に小さい人が勝つにはドリブルというそれしかない事を武器にして戦っているところに感動したし共感した。

私はハンドボールをやっていたので身長が大きい人に自分の得意であってディフェンスで前で当たり上からシュートを打たれないように頑張った。このシーンを通じて身長差があっても自分の武器を見つけてやればできることを学んだ。（3年女子）

「リバウンドを制するものは試合を制す」自身も中学時代バスケットをしていて、その時どの練習よりもリバウンドは必ず取れと教わっていたので、どんなにドリブルやシュートが上手くてもリバウンドを取ることで自分たちの攻撃にできること。なにより、シュートを決めても陰で一生懸命リバウンドを取っている人がいるから勝てる試合もあることを教わった。（3年女子）



## 『君の臍臓をたべたい』



「私も君も一日の価値は一緒だよ」

空いていた図書委員に立候補した彼女に「残り少ない時間を本の分類に使っていいの？」と僕が聞いた際に彼女が放った言葉です。

僕はこのシーンを読んで、健康でも余命がある人でも一日の価値には差がないんだなと思いました。僕だって明日死ぬかもしれないのにやりたいことを今していないので、この言葉がとても胸に刺さりました。（3年男子）

## 『僕のヒーローアカデミア』



「君はヒーローになれる」

これは、後にデクが個性を授かる、オールマイトからの一言。生まれながらに無個性だったデクが、偶然オールマイトに救われた時に、無個性でヒーローに慣れるほど甘いものでは無いと現実を突きつけられてしまう。しかし、デクの友人が敵に襲われた時、真っ先に躊躇なく飛び出して行ったのがデクだった。そんなデクに心打たれたオールマイトが、デクに向けて放った言葉。このシーンがこの物語の原点と言っても過言ではないと思う。このことから諦めないことの大切さ、目標に対して努力をし続けることの大切さを学んだ。（3年男子）

## 『幽遊白書』



蔵馬vs鯨での過去の蔵馬と黄泉の会話の回想シーン  
「切り札は先に見せるな、見せるならさらに奥の手を持って」

黄泉に気に入られた蔵馬が気に入らない鯨は蔵馬に無理難題を押し付けるも糸も容易く突破され、鯨は、蔵馬の暗殺に走るが蔵馬が人ではなく妖狐の本来の姿に戻り討ちことに感激を覚えた。  
私は、切り札を提示するためにさらに奥の手を持つことで自分が助かったり得をするので大切だということを知った。（3年男子）

## 『聲の形』



私も転校生が来たときに障害者ではなかったが、少し抵抗がありあまり仲良くすることができなかったけど、誰でも受け入れ自分たちよりも1人で転校してきたこの方が不安だと思うから相手の気持ちを考え居場所を作ってあげられるようにしたいとおもった。（3年女子）

## 『寄生獣』



「人間も家畜を喰らっているだろう」  
パラサイトたちが次から次へと人間を喰らっていたが、それはパラサイトたちからしたら当たり前のことだ。自分たちも家畜を食べている。  
なんか複雑だけどちゃんといただきますを言おうと思いました。（3年男子）



## 『ちはやふる』



### 「全国大会」

全国大会では自分たちが見慣れてない配置や相手のプレッシャーがあった。そんな中一歩ずつ優勝に近づいていった。

そのシーンを見て、どんな状況でもひとつずつやっていけば結果はついてくるかもしれないということを学んだ。（3年女子）

## 『東京リベンジャーズ』



大人のダメ人間なタケミチがタイムリープして新たにやり直せるとわかってから、作中で「二度と譲れねえもんがあんだよ！」と叫ぶシーンがある。

何か大切なもののために人生を賭け戦っていく姿は考えさせられる気持ちになるし、自分にもそのくらい大切なものが欲しいと思えた。（3年男子）

## 『ワンパンマン』



『勝てる勝てないじゃなくここで俺はお前に立ち向かわなくちゃいけないんだ！』

無名ライダーという主人公と同じ階級のヒーローがいるが主人公と比べて力は圧倒的に違う。その無名ライダーの前に超強力な怪人が現れる。当然無名ライダーは勝てずぼろぼろになってしまうが、それでも諦めずに敵に立ち向かい応援のヒーローが来るまで時間をかけ、市民を守るシーンです。私は自分よりも強い敵が現れても大事なものや大事な人のためにぼろぼろになりながらも守りぬく死んででも守りぬく精神をつけたいなと思いました。（3年男子）

## 『ブルーロック』



### 「潔世一のダイレクトシュート」

高校の県大会決勝でゴール前の決定機、フリーの味方にパスを出してしまったことが敗北に繋がったことから、「あのとき自分で打っていたら」「勝ちたかった」という深い後悔を抱えていた。その後ブルーロックという施設に入って様々な経験をしていくうちに、決定機にトラップせず打ち込むダイレクトシュートで得点する自分なりの方程式を確立した。潔の自分を信じて行動するという判断に感動し、私も己を信じて周りに流されないで生きていこうと思った。（3年男子）

## 『鬼滅の刃』



### 炭治郎が鬼になった禰豆子を守るシーン

炭治郎が鬼に立ってしまった禰豆子を守り、富岡義勇に説得するシーンがとても感動した。鬼になっても妹を守る炭治郎を見て、自分も家族を大事にしたいと思った。（3年男子）

## 『ダイヤのA』



技術は他の人の方が上だったが最初からエースになるという気持ちは負けないと言っていて気持ちというものはなによりも人を成長させてくれるということを学んだ。（3年男子）

## 『バクマン。』



漫画はただただ1人が色々書いていくのではなく、様々な人がデコ入れをして、何回も何回も修正して作られているということ。（3年男子）

## 『SPEC』



どのシーンでも仲間を思う気持ちを忘れずに常に戦い続けるシーンがとてまかっこよく、自分も友達を大切にしなければならなかった。（3年女子）

## 『ブラッククローバー』



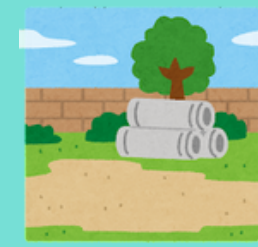
「ヤミ・スケヒロ：今ここで限界を超えろ」  
黒の某牛団という団の団長をしているヤミ・スケヒロが、戦っている中、限界を迎え心が折れそうになる仲間に対し、その言葉を淡々というシーン。この一見テキトーにも聞こえる言葉だが、改めて考えると自分で勝手に限界を作っているに過ぎないと感じ、まだやれるぞ、頑張れるぞと心に訴えかけられている気がしてくる。私は勉強や部活で限界を自分で勝手に作り、辛いやきついなど、ネガティブな気持ちになってしまいが、その言葉を思い出すたび、まだできる！まだ頑張れる！とポジティブになり、前向きになることができる事を学んだ。（3年男子）

## 『MAJOR』



「できるかできないかじゃねえ。男ならやるかやらねえかのどっちかしかねえだろが。」  
この言葉を胸に私は色々に励むことができました。特に空手でこの言葉を胸に自分より体のでかい相手挑み続けていたら、小学生の時に東京都空手道選手権大会で優勝することができました。この言葉に、私は今でも助けられている。この言葉を知った理由は友達です。この漫画は、実を言うとコロナ禍に入ってから詳しく読ませていただきました。小学生の頃は言葉としてしか知らなかったが、内容を知ってから、もっと自分の中で大切な言葉になり、モットーになりました。（3年男子）

## 『ドラえもん』



のび太くんとジャイアンの喧嘩  
のび太くんはいつもの公園でジャイアンと喧嘩をしていた。いつもなら負けて終わってしまうが、ドラえもんが未来に帰ってしまうために諦めず何度も立ち上がってジャイアンに挑み、勝った時に言った言葉が感動した。友情の力はすごく深くていいものなんだなと思った。自分も友達との関係をしっかりと持ちたいなと思いました。（3年男子）

## 『モブサイコ』



「自分だけじゃ何もできない。人に助けられて生きているってこと。それに気づいた方がいいよ。」  
どんなに力がついてても人に助けられながら生きている事実を再確認させられたシーンでした。その他、師匠の靈幻新隆のセリフも胡散臭いがいいセリフが多い作品です。（3年男子）

# 漫画に関わる本校の取り組み

## 授業内容の紹介(2021年9月現在)

- ・ 漫画の誕生から発展へ / 『鳥獣戯画』『火の鳥』
- ・ 戊辰戦争と新政府の発足 / 『るろうに剣心』
- ・ 都市化の進展と市民生活 / 『鬼滅の刃』
- ・ 春秋～戦国時代、秦の統一 / 『キングダム』
- ・ 社会保障制度の発展 / 『健康で文化的な最低限度の生活』
- ・ 平等権の保障 / 『聲の形』
- ・ 人間の尊厳～自由とは～ / 『ここは今から倫理です。』
- ・ キャリアの開発～進路選択～ / 『バクマン。』
- ・ 蒙古襲来 / 『アンゴルモア』
- ・ 禁教と寺社 / 『金田一少年の事件簿』
- ・ あなたの12年前にあった国内の時事問題 / 『東京リベンジャーズ』
- ・ アイヌの文化 / 『ゴールデンカムイ』

過去には、  
三國志、ジョジョの奇妙な冒険  
モリのアサガオ、テルマエロマエ、  
信長のシェフ、JIN  
裁判長！ここは懲役4年でどうすか など



## 読売中高生新聞に掲載されました

2021年6月11日付「人気マンガで学ぼう」のコーナーにおいて、授業に関する内容について取材を受けました。漫画を題材とした授業を毎週実施しているのは非常に珍しく、もしかすると荏原高校だけなのかもしれません。



## 図書室に漫画がたくさん！

「本を手にするきっかけ、そして読書へと繋げる」本校の図書室では多くの漫画を貸し出しをしており、このきっかけで、図書室へ足を運ぶ生徒が多くなりました。特に『キングダム』は人気とのこと。



## 芸術鑑賞会「ONE PIECE歌舞伎」

2017年10月17日、新橋演舞場にて芸術鑑賞会を実施しました。  
事前学習では、歌舞伎の文化について学ぶとともに、ONE PIECEの  
内容について、全体放送で取り組みました。  
桟敷席に座れるチャンスとして、ONE PIECE検定も実施！

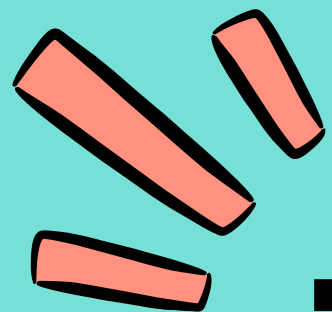


### 生徒の声



授業の説明がいつも細かく分かりやすく、特に歴史のことが理解しやすいです。  
漫画を見る前に必ずその時代で起きた出来事、覚えるべき点、重要な部分を、丁寧に聞きやすく説明してくれるので、初めて見る漫画でも歴史と照らし合わせながら見れています。また、生徒に楽しんで貰えるよう、毎回の授業でアニメやを見せてもらえるので集中して授業が受けれます。

三年女子生徒より



# さいごに

私にとって学習とは、新たな発見や気づきだと思っています。  
学校内外を問わず、身近なところで常に学習はあり、漫画もその一部だと考えています。

この授業では、発見や気づきを通して、興味を抱いてもらうことを目標に展開しています。

少しでも勉強に対する苦手意識を取り除くこと、そして漫画というものが知識として得られるものであることを知ってもらいたいです。

学校の理解や生徒の興味により「漫画で学ぶ地歴公民」は成立しています。  
皆様に感謝を申し上げます。

授業担当：岡田新平

